

4月18日 ゲスト卓話



宗教法人

真言宗 天宝山観音寺

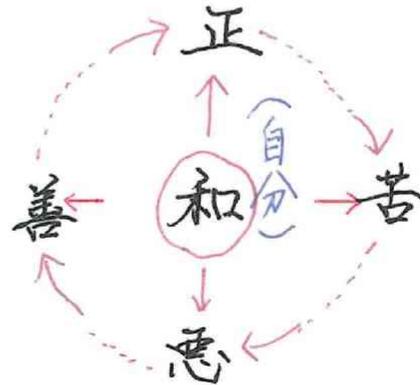
住職 日高 清湖 様

八潮みらいロータリークラブの皆様

お元気ですか!

今回、高橋洋一様から講義を頼まれ、「一句」の仏の世界から現世(現在)の世界で生きていく私達の使命について講義をしようと思います。

(右)の四ツの世界の中で私達は命がある為に毎日努力をしています。その努力の結果、幸福と家庭の豊かさを保ち続けています。



私達は正しく生きようと思えば、悪い考え方を通さない限り、正しい道に辿りつくことは、不可能です。

善く生きようと思えば、生活の中に苦勞が生じます。善く生きる為には人々に、語らぬ高貴を始め、その利益で家庭を守り、会社を守り、生きていくものです。

私達は心を見せずに苦難の中で、一生懸命努力して、ひとつひとつ積み重ねながら生活を守り、生きていくものです。

また私達は、正・悪・善・苦は、切り離しても断ち切るこのできない因縁の中で、毎日、休むことなく倫理の法則により、回転しているものです。命がある為に、自分の存在感を人々に見せ、人々から確認を受けながら生活の基盤を整え、社会の中で、己の存在感をアピールしながら、借まない努力をし、慈悲の心を持ちながら、社会の中での一線を保ち

正・悪・善・苦の四つの環境の中で、己自身が整ち、一生懸命努力してここに召集下さった皆様方も、ひとりの(和)を中心として、社会を(正)しく導き(悪)を取り除き、(善)を保ち(苦)をなくし、自分の生き方の尊さを完成させ努力していることと思います。

ここにひとりの(仏の力)で皆様が常に生かされているということを、忘れていないでしょうか。ご先祖様がいて、父母の身体を借り、現世に生まれ皆様方の今の姿を感じるならば、もとにご先祖様や父母を大事に敬っていくことが大切だと思います。

神・仏は、姿は見えず、己の心も人々に見せることもなく現実にすれば、神社は神社として見え、お寺はお寺として見えるものです。

人々は、自分の身体も姿も現実に、そのまま見極め、納得しているのだと思います。私達の心も表現として、語る・話す・伝える・その心がなければ人々の間で、コミュニケーションをとることも出来ません。自分の力が過剰であっても、時と年月が流れば、私達が思っている時代は水のように流れていくものです。

心の中に、生きる姿を見て、親であれ、夫妻であれ、子供であれ、もっと暖かい環境を作っていくことが大切だと思います。

自分自身、過剰の考えを持った時が、いちばん危ない問題が発生するものです。よく見極め、神棚・仏壇に手を合わせ、見えない力を頂けるよう、日々各々が清浄な心で、願いをすなおに掛ける。皆んなで頑張ってください。

— 合 掌 —

平成 25年 4月 18日

宗教法人

真言宗 天宝山観音寺

住職 日高 清湖